

## 5. 安心して暮らすことのできる安全な環境の確保

### 【現状と課題】

圏域は海岸部から山岳部まで変化に富む地形であり、山間地を流れる川は急河川が多く、台風や集中豪雨などによる斜面の崩壊や地すべり、土石流など風水害の発生の危険性を抱えています。

平成7年の阪神・淡路大震災や16年の新潟県中越地震などによる大規模災害の教訓から広域的な防災対策の確立を中心とした自然災害に強い地域づくりが求められています。

高齢化、都市化の進展、生活様式の変化など住生活環境の変化により、火災やさまざまな事故の発生に対する住民の備えがよりいっそう重要になっています。同時に、万一の発生に備えて各市町と連携し、充実した消防、救急対策も求められています。

自動車保有台数の増加、高齢化、都市化の進展、生活様式の夜型化などにより交通事故が発生しやすくなっています。圏域では毎年700件前後の人身事故が発生し、減少する傾向にあるとはいええない状況です。

犯罪は減少する傾向がみられるものの、それでも毎年1,000件以上発生しています。また、全国的に子どもや高齢者を狙った悪質な犯罪ニュースも聞かれるため、学校関係や関係機関、地域住民と連携して意識の高揚を図るとともに防犯対策の強化が求められます。

### 【圏域市町の救急業務実施状況】

	総数	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般傷	加害	自転車	損傷	急病	その他
H9	2,594	6	1	4	470	43	34	346	30	43	1,397	220	
H10	2,603	3	0	12	451	73	30	335	19	43	1,403	244	
H11	2,783	1	0	5	462	56	30	367	15	54	1,556	237	
H12	2,946	6	0	10	463	50	31	433	18	40	1,633	262	
H13	2,872	4	0	8	451	32	39	392	11	42	1,609	284	
H14	3,081	3	1	9	444	54	31	439	16	61	1,722	301	
H15	3,185	3	0	1	437	34	36	466	11	51	1,825	321	
H16	3,435	3	7	7	460	56	46	499	26	48	1,919	364	

### 【圏域内火災・人身事故・犯罪件数】

	火災件数	人身事故件数	犯罪件数
H9	52	686	1,137
H10	25	643	1,172
H11	31	673	937
H12	31	748	1,267
H13	31	743	1,821
H14	34	697	1,585
H15	30	756	1,437
H16	29	753	1,348

資料：富山県勢要覧「富山県」

## 【施策の展開】



### ① 治山・治水対策の推進

洪水などの災害防止や水資源の安定的な供給を図るため、国・県・各市町と連携し、自然環境の保護、自然景観との調和を図りながら広域的な治山・治水対策を推進します。

### ② 防災対策の推進

各市町の地域防災計画とも連動し、緊急情報連絡網、避難施設などの整備に努めるとともに、総合防災訓練の実施など広域的な活用を図ります。

### ③ 消防・救急対策の推進

各市町の消防・救急組織と連携し、防火意識高揚のための広報・啓発活動に努めます。

平成 18 年 6 月に「消防組織法の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、19 年度に市町村の消防の広域化を推進するため、県が中心となって推進計画の策定を予定しています。各市町との調整を図りながら計画づくりに参画していきます。

なお、昭和 46 年に黒部市消防本部に併設された「広域消防センター」は、黒部市の消防力強化のため 18 年 3 月の旧黒部市と旧宇奈月町の合併を契機として、センター、設備一式を黒部市に譲渡しました。

### ④ 日常生活の安全確保

広報や C A T V を通じて交通安全意識、防犯意識の高揚を図るとともに、各市町、学校、警察などの関係機関や地域住民との連携を図り、きめ細かな交通安全指導や防犯指導に努めます。